

2 その他の主な計画と目標

注：参考の備考欄は、「直近の状況」に掲げた数値の把握時期（期間）を示す。

なお、「年実績」は1月～12月の合計値、「年度実績」は4月～翌年の3月の合計値

No.	名称 (担当課室名)	計画概要	参 考		
			目標年及び主な目標数値	直近の状況	備 考
1	みやぎの「食」ブランド化推進方針 (食産業振興課)	ブランド化の定義等基本的な考え方を整理し、ブランド化推進のための施策の方針を定めたもの。消費者の感動・共感を生むブランド化の推進や県産ブランド品の創出を基本方針として掲げる。 【平成22年3月策定】 【令和3年8月改正】	目標年：R12(2030)年 目標数値設定なし	—	
2	農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針 (農業振興課)	農地流動化施策や担い手育成施策等の総合的な方針。目標とすべき所得水準、労働時間等の基本的な考え方や、営農類型及び経営形態ごとの経営規模、生産方式等の指標と示すもの。 【平成5年12月策定】 (令和3年4月変更)	目標年：R7(2025)年度 認定農業者数 6,500 経営体 担い手への農地利用集積割合 90%	6,279経営体 60.1%	R2.3.31現在 R3.3.31現在
3	農業試験研究推進構想 (農業振興課)	新たな技術開発を通じた農業振興を支援を目的に、時代のニーズに対応した農産物の安定供給、技術革新の活用による戦略的な農業生産、持続可能な農業生産環境の構築を主要目標として掲げるもの。 【令和3年3月策定】	目標年：R2(2020)年度 普及に移す技術の開発件数 222件	242件	H12～R2年度の累計
4	みやぎ園芸特産振興戦略プラン (園芸推進課)	食農基本計画に基づく園芸部門の行動計画。先進技術を駆使した施設園芸の推進、大区画ほ場等を活用した露地園芸の推進、食品関連産業等との連携による園芸サプライチェーンの構築、園芸産地の発展に向けた多様な人材等の確保・育成を基本方針として掲げ、重点振興品目ごとの振興策を示すもの。 【令和3年3月策定】	目標年：R7(2025)年 園芸特産産出額 544億円	373億円	H30年実績
5	宮城県水田収益力強化ビジョン (みやぎ米推進課)	水田を活用して特色のある産地を創造するため、作物ごとの取組方針、作付目標面積等を設定したもの。 【令和3年6月策定】	目標年：R5(2023)年度 主食用米 62,538ha 園芸作物 3,900ha	61,000ha 3,368ha	R3年実績 R3年見込 計画年度
6	宮城県酪農・肉用牛生産近代化計画 (畜産課)	望ましい酪農・肉用牛生産の姿の実現に向けて取り組むべき施策の方向性を明らかにし、生産目標、経営方式、飼養規模等の指標を示す	目標年：R12(2030)年度 乳用牛 18,900頭 生乳生産量 122,100 t 肉用牛 102,500頭	18,500頭 112,327 t 79,800頭	H31.2.1現在 H30年度実績 H31.2.1現在

		もの。 【令和3年9月策定】			
7	第3期みやぎ農業農村整備基本計画 (農村振興課)	食農基本計画に基づく農業農村整備分野の実施計画。農業生産基盤の整備, 農村の活性化, 農業・農村の防災対策に関わる施策を掲げるもの。 (第1期: H14~H22) (第2期: H23~R2) 【令和3年3月策定】	目標年: R12(2030)年度 汎用化水田面積 83,100ha	79,108ha	R2年度実績
8	みやぎ農山漁村交流拡大推進プラン (農山漁村なりわい課)	持続可能な農山漁村づくりをめざし, 農山漁村地域での体験や宿泊, 都市部の企業や人材との連携などの多様な都市農村交流を推進し, 交流・関係人口の拡大を図るプラン。地域や人材の育成, 地域資源を活用した交流コンテンツづくり等を基本方針として掲げる。 【令和3年5月策定】	目標年: R7(2025)年度 農山漁村交流拡大に取り組んだ企業・団体数 55団体 都市と農村の交流活動事業に参加した人数(関係人口) 320人	49団体 119人	R2年度実績 R2年度実績
9	みやぎの有機農業推進計画 (みやぎ米推進課)	環境負荷低減や生物の多様性保全等の取組を推進するため, 有機農業推進に係わる施策を掲げるもの。 【平成21年10月策定】 【R3年3月改訂】	目標年: 10年後 令和12年度有機JAS取組面積 500ha	—	